

### Background Art Information

Japanese Utility Model Laid-open No. 54-53716 (Serial No. 52-128572)

Laid-open Date: January 18, 1979

Title of Invention: Gas Cock

Inventors: Hiroshi Furuta

Abstract:

A gas cock body 2 is formed with a base 4 that extending from the side of the gas cock body 2. The base 4 is formed with an insert hole at a center portion thereof, which receives a pipe 5. The base 4 is formed with a flange 6 for fixing the pipe 5 to the base 4.

公開実用 昭和54-53716



実用新案登録願

後記号なし

(3,000円)

昭和52年

月24日

特許庁長官

殿

1. 考案の名称

ガスコック

2. 考案者

住所 大阪市阿倍野区長池町22番22号

シャープ株式会社内

氏名 フルタ ヒロシ  
古田 浩

3. 実用新案登録出願人

住所 大阪市阿倍野区長池町22番22号

名称 (504) シャープ株式会社

代表者 佐伯 旭

4. 代理人

住所 545 大阪市阿倍野区長池町22番22号

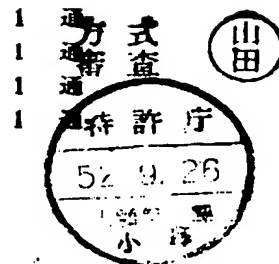
シャープ株式会社内

氏名 弁理士 (6236) 福士 愛彦

連絡先 電話 (東京) 260-1161 東京支社技術部

5. 添付書類目録

- (1) 明細書
- (2) 図面
- (3) 委任状
- (4) 願書副本



52 128572

53-53716

## 明 細 書

## 1. 考案の名称

ガスコック

## 2. 実用新案登録請求の範囲

1. 配管を接続した閉子を内蔵するガスコックにおいて、上記配管をかしめる台座をガスコック本体に一体形成したことを特徴とするガスコック。

## 3. 考案の詳細な説明

本考案はガスコックと配管とを接続する構造に関するものである。

従来、ガスコックと配管との接合はフランジタイプ、ネジ式あるいは袋ナット式によって行われていたが、フランジタイプでは配管にフランジをロウ付等しなければならず作業性が悪く、コスト高になっていた。又、ネジ式の場合は配管が直管のような簡単な構造のものに限られ、複雑な配管には用いることができなかった。更に袋ナット式の場合は袋ナットの締付けを手作業で行なうために作業性が悪い等の不都合があった。

**公開実用 昭和54-53716**

本考案は上記の欠点を除去するためになされたもので配管とコックとの接合を容易にするために配管をガスコック本体にかしめることにより接合するものである。

以下本考案の一実施例を図面に基づいて説明する。第1図は本考案の一実施例を示すガスコックと配管との接合部断面図、第2図はその正面図である。図において、1はガスコック本体2に内蔵される閉子（図示せず）のシャフト、3は閉子カバーであり通常の閉子を用いたガスコックを構成している。4はガスコック本体2の側面に突設して略直方体状をなす台座であり、ガスコック本体2と一体に形成され、中央部には配管5を挿入する挿入孔を穿設し、閉子孔（図示せず）と連通している。上記台座4の遊端部は配管5を挿入した後かしめるための鋳6を設けている。一方、配管5には上記台座4に挿入した際に上記鋳6のガスコック側に位置する箇所フレア加工を行ない、配管5と台座4との間にはリング7が挿設されている。次に配管5をガスコック本体2に接合す

る手順を述べると、まずフレア加工をした配管5の内側にリング7を挿入して台座4の挿入孔に配管5を挿入した後、上記台座4の鏝6をかしめると上記配管5のフレーム加工部によって台座4と配管5とが完全にかしめることができる。第3図は本考案の他の実施例を示すガスコックの接合部要部断面図であって、台座4の側部周辺に溝8を形成したものである。このようにすると、台座4を小形にすることができると共に効果的に配管5をかしめることができる。第4図は本考案の変形実施例を示すもので、かしめ用台座4の力が加わる外周に斜め方向に又は配管と直角方向に溝9を設けている。このような溝9を設けると、ガスコック本体を効果的に固定することができる。

以上に説明したように本考案によれば、配管を接続した閉子を内蔵するガスコックにおいて、上記配管をかしめる台座をガスコック本体に一体形成したから、台座をかしめる際に配管側からガスコック本体側に及ぶ力によって閉子の変形したり閉子とガスコック本体とのすり合せ部よりガスが

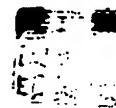
**公開実用 昭和54-53716**

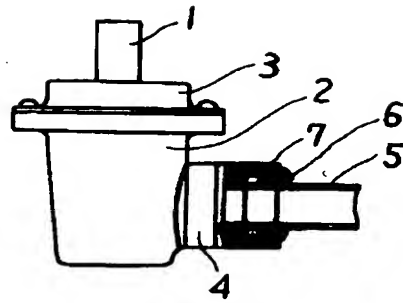
漏れるという不都合を解消することができる。又ガスコックと配管とを接合する場合、単に台座の先端部をかしめるだけで良いので作業性が向上すると共に低価格のガスコックを提供することができる。

**4. 図面の簡単な説明**

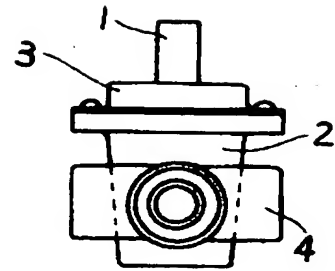
第1図は本考案の実施例を示すガスコックの接合部断面図、第2図は正面図、第3図は他の実施例を示すガスコックの接合部要部断面図、第4図は変形実施例を示すガスコックの接合部要部断面図であって、2はガスコック本体、4は台座、5は配管である。

代理人 弁理士 福 士

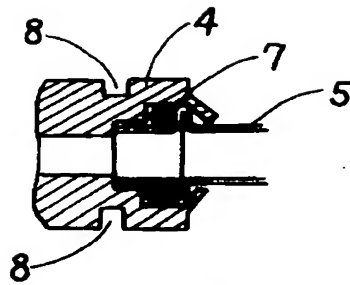




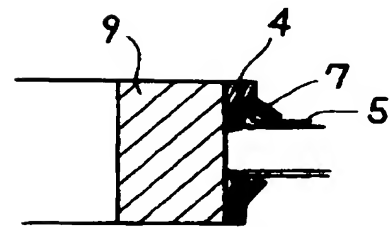
\* 1 図



\* 2 図



\* 3 図



\* 4 図

53716

出願人 富士電機株式会社  
代理人 福士愛彦